

2018年度インクルーシブ学生支援センタープログラム

2018年3月12日

事業名称

しょうがい学生における避難訓練及び個別避難計画書作成

事業概要

全学的な支援の実施において大学全体における避難訓練は定期的に行われているが、しょうがい学生においては身体状況の変化により避難訓練及び個別避難計画書の内容の検証を行い更新して作成することが必要な為。

事業目標

個別に沿った防災訓練を実施し周囲の方の協力を得て安全に避難できるかを検討した上で個別避難計画書を作成する。

【内容】

事業の必要性

しょうがい者が災害時に避難する際には、適切に自身の避難方法を伝える力を必要とする。災害時に、的確な判断に基づき自己の力で行動選択をし周囲の協力を得て安全に避難することが減災につながる。熊本地震の経験から個々の防災訓練や個別避難計画書は、日常的な備えとして必要不可欠なものであると考える。

見込まれる効果

しょうがいのある学生の身体状況は、個々に違いまた変化を伴う。したがって、個々の計画書を自身で作成できるようスキルを身につけることで、身体の変化に応じて内容を更新し個別避難計画書をたてることができるようになる。また、個別避難計画書は、日常的な備えとして持ち歩き、実際に災害が起き本人がパニックになった際に自分で説明ができない場合は、計画書に記載してある写真と説明書きを同行してほしい相手に見てもらうことで個別に沿った避難方法の一助になるであろう。

問題点課題等

避難訓練時は、グループで避難訓練の実施、個別避難計画書作成を行うが、しょうがい学生支援サポーターの参加、ボランティアの参加人数が乏しい。来年度は、夏休みに入る前に実施し、しょうがい学生支援サポーター、ボランティアの人員をできるだけ確保したい。

前年度からの改善点

平成28年度は、(科目名)「減災ソーシャルワーク」にてしょうがい学生支援室と共同で個別避難計画書を作成するに至っていたが、本年度は科目が終了したため外部から講師を招聘している。したがって、授業では数回に及ぶ避難訓練の実施をグループで行い修正しつつ計画書を作成していたが、スケジュールの関係から1日で避難訓練、個別避難計画書を、実施・修正を重ね最終版を作成している。